

編集後記

新型コロナウイルス前の世界からは想像し得なかった形で57年ぶりの東京オリンピックが始まりました。時節柄熱狂の少なさは有難く思いますが、あのドローン地球とピクトグラム熱演は良かったですね！

誌上ギャラリーには宇根先生からパナマ運河の大仕掛けをお寄せいただきました。人造湖へと大きな船舶を持ち上げる様子が珍しく面白いショットです。

論説と話題は6月定時代議員会の書面開催報告と学校健診時の感染対策に関するアンケート結果です。具体的な方策が多く参考になりました。

また先日逝去されました海江田 健先生への追悼文を有馬先生からもお寄せいただいています。

緑陰銷夏（木陰で夏の暑さをしのぐ意）の隨筆特集は盛りだくさんです。コンサートホールでの名演の数々を懐かしむ川畠先生の「スタンディングオベーション」。鹿市医郷壇選者の樋口先生が語る「薩摩狂句鑑賞」。池波正太郎作品から法制度へ想いを馳せる小田原先生の「いろいろは茶屋で事故調を想う」。県臨床検査技師会の有村様から「新型コロナウイルス情報第3報『コロナ禍での技師会活動』」で検査等サポートチーム立ち上げのご報告。水辺の鳥たちが印象的な栗先生の「River when it Sizzles（写真で楽しむ緑陰銷夏）」。毎日新聞鹿児島支局長の石田様による紙面紹介「鹿児島の魅力を発信します」。県鍼灸マッサージ師会の大勝様から創立70周年・法人化40周年記念講演及び記念式典のご報告。県言語聴覚士会の湯田様からはスポーツを通じた交流の一時停止を惜しむ「変わってしまった日常 - コミュニケーションの大変さ -」。相良先生の「1945年（昭和20年）6月17日鹿児島大空襲」の思い出。頭頸部癌の幅広さと予防・早期発見の重要性を山下先生にご紹介いただいた「『のど』のがんについて」。

いつもの隨筆コーナー（古庄先生の「切手が語る医学」は医学者・医師について、

武元先生の貧血シリーズ最終回「初夏の症例」、地元サッカーチームへの愛を熱く語りつつスポーティな医師となるための心構えを探る井上先生のリレー随筆「鹿児島ユナイテッドFCについて」）共々、ご寄稿いただいた方々に深く感謝を申しあげます。

医療トピックスは高カリウム血症の経口治療薬比較です。昨年発売された新規治療薬の利点と欠点も教えていただきました。

学術は南風病院から「20代で腎提供後10年以上経過して巣状分節性糸球体硬化症（FSGS）を発症し末期腎不全となった症例」です。実兄への提供で、家族性遺伝性要因の事前検索や直系の若年ドナー選定を回避する等の対応策も要検討のようです。

医師会病院だよりはペインクリニック内科紹介です。難治性癌性疼痛治療と漢方による支持療法や積極的なリハビリテーションを実施されている由、引き続き患者さんご紹介の程よろしくお願い致します。

コロナ禍のため区・支部会は行われていませんが、在宅医会からZOOMを用いたリモート事例検討会の報告がありました。外科医会総会は現地開催で最近の心臓血管外科について、内科医会例会はWEB開催で頭部MRIの基本についての講演をいただいたとの事です。

各種報告は理事会概要・委員会報告です。附属施設だよりと附属施設等利用・受診状況、当会の動きもご一読ください。

鹿市医郷壇のお題は「暑き（ぬき）」でした。熱心な投稿者の方々が異動され、有望新人の登場が待たれます。かごんま弁に自信のない方もまずは一句からご投稿を！

さて過去に例のない大規模予防接種もようやく高齢者から中年層以下に入ってきました。対応に追われつつマスクが外せない時間の多い夏です。先生方、当会関係者の方々、ストレスケアを含めた体調管理にご留意のうえお元気でお過ごしください。

（編集委員 關根さおり）